

市議会だより

福いね!
いまの時代、自分からアピールしなさい!
福井市



5月 臨時会 (5月9日)

審議事項：議案2件、報告4件、市会案1件

6月 定例会 (6月16日~7月2日)

審議事項：議案15件、報告15件、請願1件
組織議会、委員会審査、一般質問

編集/発行

福井市議会だより編集委員会
福井市大手3丁目10番1号
令和7年8月25日

議会の構成

◆ 田中義乃 議長



田中議長は市議当選4回で、この間、建設委員会委員長、総務委員会委員長のほか、新幹線・並行在来線等対策特別委員会委員長などを歴任しました。

【住所】
福井市宝永1-6-8

◆ 堀川秀樹 副議長



堀川副議長は市議当選6回で、この間、議長、副議長のほか、決算特別委員会委員長などを歴任しました。

【住所】
福井市門前2-12-13

(敬称略)

委員会名		委 員 名				◎委員長 ○副委員長
常任委員会	総務	◎津田 かおり 岩佐 武彦	○浦上 逸人 山田 文葉	堀川 秀樹 佐野 弘	藤田 諭	池上 優徳
	建設	◎葛野 早智代 酒井 良樹	○宮岡 勝也 榊原 光賀	野嶋 祐記 高田 稔浩	下畑 健二	堀江 廣海
	教育民生	◎寺島 恭也 奥島 光晴	○村田 耕一 田中 義乃	皆川 信正 八田 一以	青木 幹雄	鈴木 正樹
	経済企業	◎漆崎 與 近藤 貴	○玉村 正人 菅生 敬一	見谷 喜代三	今村 辰和	伊藤 洋一
議会運営委員会		◎野嶋 祐記 藤田 諭	○菅生 敬一 玉村 正人	見谷 喜代三 池上 優徳	青木 幹雄 漆崎 與	村田 耕一 佐野 弘
特別委員会	みちづくり・ ひとづくり・ まちづくり 対 策	◎八田 一以 山田 文葉	○下畑 健二 酒井 良樹	青木 幹雄 葛野 早智代	野嶋 祐記	玉村 正人

議会選出の各役職一覧

監査委員	酒井 良樹 榊原 光賀
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	田中 義乃 堀川 秀樹 皆川 信正 奥島 光晴 池上 優徳
鯖江広域衛生施設組合議会議員	藤田 諭 玉村 正人 漆崎 與
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	田中 義乃 菅生 敬一 寺島 恭也
都市計画審議会委員	野嶋 祐記 浦上 逸人
社会福祉審議会民生委員審査専門分科会委員	八田 一以
青少年問題協議会委員	佐野 弘
少年愛護センター運営委員会委員	山田 文葉 高田 稔浩
社会教育委員	下畑 健二 葛野 早智代 宮岡 勝也
通学区域審議会委員	今村 辰和 村田 耕一 伊藤 洋一
学校給食運営委員会委員	鈴木 正樹 酒井 良樹 榊原 光賀
福井市総合計画審議会委員	堀川 秀樹 田中 義乃 池上 優徳 津田 かおり

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10月11ページに掲載しています。

5月臨時会

令和7年度補正予算

5月臨時会補正予算は、長引く米価高騰をふまえ、米の購入に係る家計の負担増の影響を強く受ける子育て世帯への迅速な支援を行うことで、1日でも早く家計負担の軽減を図り、ひいては市民の安心な暮らしを支えるとともに、消費減退による米離れを防ぐことで市内農家を支援するため、所要の予算措置を行うものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で1億5,000万円を追加するもので、補正後の予算総額は、1,402億8,000万円、全会計で2,562億2,300万円となります。

人事案件

○固定資産評価員

固定資産評価員の辞任に伴う欠員を補充するため、木村恒昭氏を選任することに同意しました。

市会案

○福井市議会が世界平和統一家庭連合(旧統一教会)及び関係団体との関係を断つ決議について

断つ決議について

6月定例会

令和7年度補正予算

6月補正予算は、各種施策を推進するための取組をはじめ、国の補助金に伴う事業のほか、ごみ処理施設に係る債務負担行為の設定について計上するものです。

今回の補正予算の規模は、一般会計で3億222万円を追加するもので、補正後の予算総額は、一般会計で1,405億8,222万円、全会計では2,565億2,522万円となります。

※予算の概要については、市財政課のホームページをご覧ください。



【主要事業】

- Ⅰ 各種施策を推進するための取組
 - ・県民衛生「すいせん」活用事業
 - ・「いのちを守るうー」木造住宅無料耐震診断・改修緊急事業
 - ・防災備蓄整備事業
 - ・新型コロナウイルス定期予防接種事業
 - ・ふくいMaas構築事業
 - ・地場産プラスチック給食事業
- Ⅱ 国の補助金に伴う事業
 - ・生活保護システム改修事業
 - ・地域介護福祉空間整備等補助事業
 - ・私立教育・保育施設等整備補助事業
- Ⅲ 債務負担行為の設定
 - ・ごみ処理施設整備・運営事業

条例

○福井市子ども一時預かり所の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井県のすみずみ子育てサポート事業の補助基準額と補助額の改定に伴い、福井市子ども一時預かり所の使用料の見直しを行うものです。

○福井市自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市本町通り地下駐車場を当面の間休止することに伴い、今後当該駐車場の有効活用を検討していく間は供用を停止するものです。

委員会審査

県都にぎわい創出対策特別委員会



アリーナ整備に係る事業計画の見直しに関し、これまで検討されてきた内容や経過、今後の見直しなどについて説明を受けるため、経済界から4名の方に出席いただきました。

《アリーナについて》

問 シミュレーションでは、Bリーグ等開催時の家用車利用の予測が1,375台である一方、休日の昼間の駐車場の空き台数は約1,240台とのことだが、実際は、

家用車を利用する来場者が空いている駐車場を探し回ることになるのではないかと懸念している。

人事案件

○監査委員

監査委員の欠員を補充するため、浅野信也氏、酒井良樹氏、榎原光賀氏を選任することに同意しました。

答

アリーナ周辺の駐車場で一定の台数は賄えるとはいえ、福井駅周辺で複数のイベントが重なると、空いている駐車場を探す車で渋滞になる可能性もあり、大きな課題として認識している。そこで、今年度から駐車場の満車・空車の状況がリアルタイムでウェブ上に表示されるシステムを事業者が導入する際、その費用に対し市として支援を行っていく予定である。

※本委員会は6月16日の本会議において調査を終了することに決しました。

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(委員会終了順に掲載)

総務委員会



《フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定期間の変更について》

問 指定管理者である福井市ふれあい公社側の都合により指定管理期間が途中で短縮されることになるが、フリーアしなればならない契約上の制約等はないのか。

答 指定管理者の法人格が変更になる場合は、改めて議会の議決を経た上で、再度指定をする必要がある。

また、福井市ふれあい公社と本市が締結している現行の基本協定書の第47条では、「業務の前提条件や内容が変更したとき、または特別な事情が生じたときは、市及び指定管理者の協議の上、基本協定書を変更することができるとする」と規定している。

今回の事案は、この規定に基づき協議を進めてきたものであり、協定上、特に問題があるものではない。

《ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府

に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書の提出を求める請願書について》

意見 核兵器の脅威は広がっており、また、本市は非核平和都市宣言をしていることから、採択すべきとの意見があった一方、安全保障の問題でもあり、高度な政治判断が求められるため、国の責任においてしっかりと対応すべき事案であることから不採択とすべきなどの意見があった。

建設委員会



《ふくいMaas構築事業について》

問 「ふくいMaasアプリ」の利用者はどれくらいいるのか。

答 「ふくいMaasアプリ」は、福井銀行と福井新聞社が出資して設立した株式会社「ふくいのデジタル」が運営する「ふくアプリ」内にある交通系アプリであり、この「ふくアプリ」の登録者数自体は約18万人、また、福井市民の登録者数はそのうち約5万5,000人である。これら登録者のうち

何人が「ふくいMaasアプリ」を利用しているかは把握していないが、例えば、昨年度「ふくいMaasアプリ」を通じて販売したデジタル企画切符の枚数が約7,000枚で、そのうち公共交通関係は、約2,000枚であった。

問 この事業でアプリの機能追加と改修を行うことにより、今までと比べてどのように変わるのか。

答 「ふくアプリ」のトップ画面を見ても、どこに「ふくいMaasアプリ」があるのかわかりにくいことから、より目立つような形で連携できるように進めていく。

また、「ふくいMaasアプリ」を通じてデジタル企画切符を購入した方に福井県のデジタル地域通貨「ふくいびこいん」などをプレゼントする取組を実施しているが、こういった企画を増やすとともに、これまで以上に幅広い周知に努めていく。

経済企業委員会



《工事請負契約の締結（福井競輪場バンク改修工事）について》

問 工事期間中である来年4月から10月までは中部地区の競輪場を借り上げて本場開催を行うとのことだが、福井競輪場で行う場合と、別の競輪場を借り上げて行う場合とでは、売り上げに差が生じないのか。

答 借り上げ開催を行っている他の競輪場の事例を見ると、借り上げ開催であっても売り上げは減少していないため、福井競輪場の場合も売り上げに対する影響は少ないと考えている。

一方、施設の借り上げに伴う委託料が必要となるため、新たな経費が発生する。

問 今回35年ぶりにバンクを改修することのだが、これから先も競輪事業を長く続けていくつもりであれば、部分的な改修ではなく施設全体を改修することも考える必要がある。そういった長期的な計画はあるのか。

答 今年度、資金などの財政面も含め、施設全体の整備計画に係る指針を作成する予定である。

要望 競輪離れなどの懸念もあることから、多くの方に来ていただけるような施設にしていきたい。

教育民生委員会



《ごみ処理施設整備運営事業について》

問 地中障害物である岩盤層の除去に伴う工事費の増額について、工事設計前のボーリング調査で岩盤層を把握することはできなかったのか。

答 工事設計前に実施したボーリング調査は、岩盤層の分布を調査するものではなく、建造物を支えるための支持層がどこにあるかを探す目的の調査であった。

問 このような大規模工事では、工事入札前に岩盤層を把握するための地盤調査が必要であったのではないのか。

答 建造物を建設するにあたり、計画の段階では、建造物の四隅や対角線、中央付近に位置する箇所のボーリング調査を行うのが一般的である。地質調査を行うための技術は日々進歩していることから、これらについて調査研究することは必要ではあるが、今回の入札に当たっては最も適切な方法で調査を行ったと考えている。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を問うため、6月23日から25日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 皆川 信正 (一真会)</p> <p>1 アリーナ構想について</p>	<p>⑨ 奥島 光晴 (新政会)</p> <p>1 公立保育園の修繕・補修の進捗状況について 2 若者・女性の県外流出の一考察について 3 地方公務員志望者の減少について</p>	<p>⑮ 津田 かおり (公明党)</p> <p>1 ごみステーション訴訟を通して考える自治会活動のあり方について 2 投票率向上の取組について 3 安心して「搾乳」ができる環境づくりについて 4 新グリーンセンターの稼働と循環型社会に向けたごみ政策について</p>
<p>② 堀江 廣海 (一真会)</p> <p>1 まちづくりについて</p>	<p>⑩ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <p>1 市幹部の法令違反とその対応について 2 ジェンダー平等の推進と女性蔑視・ミソジニーについて 3 無料低額診療制度の保険薬局への助成について 4 社会保険加入者の国保税支払い義務の矛盾について</p>	<p>⑯ 浦上 逸人 (一真会)</p> <p>1 文化会館跡地の暫定利用について 2 小・中学校のトイレ、雨漏り、余裕教室について 3 市有施設の中長期的なマネジメントについて</p>
<p>③ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 うるおいのある地域環境の整備について 2 本市の環境政策について 3 市民が安全に生活できる施策の推進について</p>	<p>⑪ 葛野 早智代 (一真会)</p> <p>1 男性の育児休業取得について 2 部活動の地域移行について 3 自転車利用に関するルール・マナーについて 4 補導員活動の現状と今後の対応について</p>	<p>⑰ 寺島 恭也 (一真会)</p> <p>1 学校規模適正化計画と部活動の地域移行について 2 本市墓地公園の現状と今後について 3 消防用設備等の定期点検の実施率について</p>
<p>④ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <p>1 アリーナ構想について 2 北陸新幹線開業後の成果と課題について</p>	<p>⑫ 近藤 實 (無所属)</p> <p>1 ふれあい公社への退職金補助3,730万円は大問題だ！ 2 脱炭素先行地域への応募について 3 選択的夫婦別姓について 4 決算認定スケジュールを早めること 5 本町通り地下駐車場の赤字責任について 6 5月臨時会の招集は地方自治法違反だ！ 7 理事者の皆さんは法令遵守の意識が薄い！ 8 福井市特別職職員等倫理委員会、規程違反を認定！ 9 福井アリーナ整備・運営について</p>	<p>⑱ 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 新グリーンセンターについて 2 米価高騰について 3 人口減少対策について</p>
<p>⑤ 宮岡 勝也 (市民クラブ)</p> <p>1 新型コロナワクチンの定期接種事業の見直しと他事業への予算配分について 2 教科書採択における透明性と自尊心観を育む教科書の選定について 3 福井市の外国人育成就業制度の懸念について 4 給食無償化に伴う質と量の担保と国の予算措置について 5 保育現場での給食やおやつの提供内容について</p>	<p>⑬ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <p>1 エアコン購入への助成制度について 2 帯状疱疹について 3 化学物質過敏症について 4 米価の高騰について 5 アリーナ建設の問題について</p>	<p>⑲ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 公共交通の利便性向上対策について 2 アリーナ構想について 3 人口減少対策について</p>
<p>⑥ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 市職員の働き方改革について 2 GIGAスクール構想の推進について 3 九頭竜中学校の通学路について 4 チラムネ福井コラボについて</p>	<p>⑭ 岩佐 武彦 (無所属)</p> <p>1 障がい者の雇用促進について 2 県産材の利活用促進について 3 学校給食について 4 自治会を取り巻く現状と今後の対応について</p>	<p>⑳ 佐野 弘 (一真会)</p> <p>1 中学校部活動の地域展開について 2 介護福祉施設の処遇改善と市の支援について 3 食料安全保障と農業について 4 若者の定着に資する移住促進と労働環境について 5 旧すかつとランド九頭竜の今後について</p>
<p>⑦ 漆崎 與 (一真会)</p> <p>1 防災・減災と防災訓練について 2 福井市南部の「歴史と自然」を生かす地域づくりについて</p>	<p>㉑ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 福井市道づくりビジョンについて</p>	<p>㉒ 見谷 喜代三 (一真会)</p> <p>1 下水道事業の現状と将来に向けた取組について</p>
<p>⑧ 高田 稔浩 (市民クラブ)</p> <p>1 エレベーターのない公民館への階段昇降機の設置について 2 車いす使用者がふくい桜マラソン実行委員会の委員になることについて 3 フェニックス・プラザ内の多目的（バリアフリー）トイレについて 4 障がい者団体が主催する会議への市役所職員の出席について</p>	<p>㉓ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 市長ビジョンロードマップについて 2 公共工事について</p>	<p>㉓ 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 市長ビジョンロードマップについて 2 公共工事について</p>

← 各議員の一般質問要旨は、6ページから10ページに掲載しています。

一般質問要旨

みながわ のぶまさ
皆川 信正 議員
一真会

アリーナ構想について

質問

民設民営から官民一体と行政の負担が大きくなっている。5億円の追加支援、年間の運営費7千万円＋土地代2千万円が30年で42億円となる。民設民営とは言えない。経済界から示された建設費、入場者数、収支等は信用できない。市長の見解を求める。

回答

今回、経済界から本市に求められている行政支援は、国交付金の追加支援である。経費負担の内訳では約100億円が民間資金による調達としていることから、経済界が主体で県・市が一体となり支援するというスキームに変更はないと考えている。市負担は、これまでの10億円から15億円に増額となるが、スポーツ以外にも多目的に活用できるまちなかの集客施設が今回示された負担額で対応できるのであれば、換額の価値はある。行政支援の在り方については、引き続き議会の意見を伺うとともに、今後示される詳細な事業計画の下、県とも連携を密にしなが、慎重かつ前向きに検討していきたい。

まちづくりについて

ほりえ ひろみ
堀江 廣海 議員
一真会

質問

第九次総合計画において新たに設定する課題と、第八次総合計画の期間内に対応すべき固有の課題及びそれらへの対応と現時点での成果について伺う。

回答

第八次総合計画の主な課題としては、北陸新幹線福井開業を迎える準備やアフターコロナへの対応が挙げられる。新幹線開業に向け、福井駅周辺のにぎわいづくりや観光地の魅力向上等に取り組んだ結果、全国から多くの観光客が訪れ、新たなにぎわいと交流が生まれてきている。アフターコロナへの対応では、行かない窓口の実現に向け、行政手続のデジタル化を進めてきた。第九次総合計画においては、新幹線開業によるにぎわい効果を持続化させ、市全域に波及させることが重要となる。また、こどもまんなか社会の実現に向けた施策を進めていく必要がある。さらに防災・減災対策の強化や道路等の社会資本の強靱化の推進により安心して暮らせる地域づくりをしつかりと進めていきたい。

市民が安全に生活できる施策の推進について

むらた こういち
村田 耕一 議員
市民クラブ

質問

福井市通学路安全プログラムにおいて、通学路の危険箇所の現状調査を行い、関係機関が安全対策を検討・実施しているところだが、通学路における児童・生徒の安全確保について、道路、水路、踏切等の取組を伺う。

回答

まず、横断歩道や路側帯の白線の薄れなどは、できる限り速やかに道路管理者や警察と連携し、白線の引き直しを行うなど対応している。また、信号機の新設や水路の転落防止柵の設置など、早期の対応が困難な箇所や、年度途中に判明した危険箇所は、保護者等による見守り活動の強化に加え、警察に定期的なパトロールを依頼するほか、通学路を変更するなどの対策を講じることで安全を確保している。

今後もし引き続き、道路管理者や警察など関係機関との連携を密にしなが、通学路の安全確保に努めていく。

アリーナ構想について

のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
新政会

質問

福井の主たる企業が、アリーナの建設や継続的な運営に「オール福井」の体制で取り組んでくれるのか。そして8月に公表される詳細な事業計画に関し、市としてどのようなところに着目して審査し判断するのか。市の所見を伺う。

回答

6,000社を超える組織のトップである福井商工会議所の会頭から、不転転の決意で取り組むという発言があった。この発言を受けて、多くの企業がアリーナ整備構想に期待し、実現に向けてオール福井で取り組むものと理解している。

また、事業計画については、年間を通じたメインアリーナ等の利用料の収入面と、施設の管理費や維持費等に必要支出面の妥当性を含めた収支バランスが重要と考えている。その上で、経済波及効果についても、将来にわたって持続可能な計画となっているかなど、県とともに検証していく。

学校、こども園の給食の加工食品や化学調味料について

みやおか かつや
宮岡 勝也 議員
市民クラブ

質問

給食では、冷凍食品やウインナー、市販のルーなどが使われている現状があり、トランス脂肪酸や添加物が子ども達の味覚形成やアレルギーに与える影響を心配する声がある。無添加や自然素材への切り替え、加工食品の使用を減らす方針についてどのような考えか。

回答

文部科学省の基準では学校給食の適切な衛生管理について定められており、過度に加工したものを避けることや、不必要な食品添加物を使用した食品を避けることなどが定められている。加えて、本市の基準として、食品の品目ごとに品質及び規格を定めており、この基準は本市ホームページで公開している。

現在も国や市の基準に従った食材を使用するほか、学校給食の調理においては、できる限り無添加、天然素材のものを使用しており、今後も引き続き、安全・安心な給食の提供に努めていく。



すごう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

カスタマーハラスメントについて

質問

近年、職員に対するカスタマーハラスメント(カスハラ)が問題になってきている。本市の状況はどうか。また、カスハラマニュアルを作成することについてはどう考えるか。

回答

本市では、令和5年度、全職員を対象に、過去1年間に受けたカスタマーハラスメントについて実態調査を行った。回答があった720人のうち、「カスハラを受けたことがある」との回答が全体の28%であった。また、カスハラを受けた場合に「どう対応したらよいか分からない時がある」との回答が76%であった。これらの結果を踏まえ、昨年4月に「窓口等における不当要求行為等への対応マニュアル」を改訂し、カスハラを受けた場合に職員が一人で抱え込むことのないよう、組織としての対応方針を明確化した。また、カスハラの相談窓口の開設や、本市の顧問弁護士に相談できる体制も整えており、職員が安心して働ける職場環境づくりに努めている。



うるしざき あたえ

漆崎 與 議員

一真会

防災・減災と防災訓練について

質問

能登半島の被災地の状況について、市長自ら現地へ赴き、その目で確かめ、被害や復興の状況を肌で感じる事が福井市の防災、減災体制及び復興対策の強化のために重要と考える。市長は能登半島地震の被害状況や復興状況を自ら確認したことはあるのか。

回答

本年5月、能登半島地震及び奥能登豪雨からの復興状況の確認と復興事業を支援する派遣職員を激励するため、輪島市と珠洲市を訪問した。路面は地割れや段差が多く見られ、随所で復旧工事が行われていた。沿岸部では津波による被害を、山間部では地すべりによる被害を目の当たりにし、改めて被害の大きさと、復旧・復興には気の遠くなるような労力と時間を費やさなければならぬと感じた。また、珠洲市長や輪島市の副市長と面談し、震災当時の状況や現在の復興状況について直接お話を伺った。



たかだ としひろ

高田 稔浩 議員

市民クラブ

エレベーターのない公民館への階段昇降機の新設について

質問

私のような車いす使用者でも、公民館の2階に上がるために、エレベーターより安価な、階段昇降機の新設が必要と思われる。障害者差別解消法では、合理的配慮の提供が義務化されているが、市の所見を伺う。

回答

いわゆる障害者差別解消法では、障がい理由とする不当な差別的取扱いを禁止するとともに、障がいのある方が、社会のあらゆる場面に参加できるように、合理的配慮の提供と環境の整備を行うことが求められており、障がいのある方の活動を困難にするバリアを取り除く必要があると考えている。現在、エレベーターがなく、大ホールが2階にある館において、高齢者や障がいのある方が来館され手助けを必要とする場合は、公民館職員にお声掛けいただき、対応しているが、今後、階段昇降機の新設について、法令及び構造上の設置の可否など調査研究していく。



おくしま みつはる

奥島 光晴 議員

新政会

公立保育園の修繕・補修の進捗状況について

質問

子どもたちの毎日は保育園という「もうひとつの家」で過ごしている。人間は環境の動物とも言われている。子ども達の教育環境は、今日よりも明日、明日よりも明後日とスビード感をもって改善されるべきと考えるが、所見を伺う。

回答

修繕等に必要期間については、内容によって長短があり、本市が雇用する宮繕技師が迅速に対応できる軽微なもの、専門業者による対応が必要なもの、次年度に予算化が必要なものに分類し、順次対応している。また、修繕等が必要な箇所の報告に、口頭やメールに加え、写真データによる確認も行い、現場に赴く前に正確に状況を把握し、いち早く対応できるよう工夫している。今後も更なる工夫や改善に努めながら、計画的に修繕等を行い、子どもたちの安全・安心の確保に取り組んでいく。



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党

幹部職員の相次ぐ違法行為について

質問

元副市長や元企業管理者の違法行為は市民からの信頼を損ねる重大事態であり、その背景も含め徹底した調査を行うべきである。その上で問うが、不正行為については2人の個人的な問題と考えるか？個人的問題にとどまらないと考えるか？

回答

特別職員等倫理委員会へのさらなる調査要請や提言を求めることについては、現在の状況では考えていない。また、本市では、特別職員等倫理委員会から提出された中間報告書にも記載があったとおり、個人的な問題であると捉えている。



さちよ
議員
一真会

福井市における男性育児休業取得の現状と今後の支援策について

質問

市役所における男性職員の育児休業の、平均取得日数と、令和5年度、6年度の割合はどのようになっているか。また、今後企業が働きやすい職場を実現するための施策や取り組みがあれば教えてほしい。

回答

本市男性職員における育児休業の取得期間及び割合について、令和6年度の取得者の平均取得日数は51日となっている。また、令和5年度の取得率は、42.9%、令和6年度は60.8%となっている。今後の新たな取組としては、市ホームページに掲載している特色ある企業情報一覧に、男性育児の取得促進の項目を新たに加え、周知を図っていく。また、パパになる方を対象とした、男性育児制度を学ぶ講座を企業に案内していく。今後、男性育児の推進に取り組むとともに、人に優しい、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて、企業への啓発を進めていく。



こんどう みゆる
議員
無所属

ふれあい公社への退職金補助3,730万円は大問題だ！

質問

今年度、ふれあい公社に職員退職金への補助金として3,730万円を支出することが予算計上されている。この補助は、「道義的に必要な補助」だと説明を受けているが、福井市補助金等交付規則に定める交付対象になるとは考えられないはずだ。如何か。

回答

補助金の支出に関しては、地方自治法第232条の2において「公益上必要がある場合において、補助することができ」と旨を規定している。市が、補助するか否かは、この公益上の必要性の有無により、判断するものであり、地域共生社会の実現のため、福井市社会福祉協議会と福井市ふれあい公社の統合に対して補助することは、本市として必要なことと考えている。なお、本市の補助金等交付規則では、事務又は事業に対し補助することを想定しており、社会福祉協議会とふれあい公社の統合は、事業のひとつと考えている。



やまだ ふみは
議員
日本共産党

熱中症対策、エアコン設置・修理に補助金を

質問

今年の夏も気温は平年を上回る確率70%と予測されている。特に熱中症の危険がある高齢者などに安全・安心な生活を支援するため、他の自治体で実施している住民税非課税の高齢者世帯や障がい者世帯、ひとり親世帯のエアコン設置・修理に、補助金を出すべき。

回答

近年、夏季の厳しい暑さにより、特に高齢者や障がいのある方、小さな子どもがいる家庭では、熱中症対策が重要であり、また、高齢者世帯等へのエアコン設置支援についても、命を守る観点から、意義があると考えている。一方で、新たに市独自で、エアコン設置補助制度を創設することは、補助内容にもよるが、本市にとっては、恒常的かつ大きな財政負担となることが見込まれるため、現時点では考えていない。熱中症予防について、他自治体の先行事例も注視し、地域の実情に即した、より持続可能で実効性のある対策を講じていく。



いわさ たけひこ
議員
無所属

障がい者の雇用促進について

質問

どんな障がいをお持ちの方も様々な職場で働けるように、本市が率先して取り組み、自治体、企業、そして地域が連携して、障がい者自身が働きやすく、活躍できる職場づくりを進めていくべきだと思いが、所見を伺う。

回答

本市では、全ての障がいのある方に開かれた職員採用とするため、正規職員の採用において、毎年、障がい者枠として、身体・精神・知的などの障がいごとの区分を設けずに募集を行っている。また、今年5月1日に設置した、障がい者就労支援オフィス「ふらっとふくい」では、一般就労の最初のステップとして、支援員の指導のもと、市役所の各所属が依頼した業務を行っていた。障がいを持つ職員それぞれの特性に合わせた業務を通して、様々なスキルの向上を図り、民間企業や本市の正規職員へのステップアップを後押しするとともに、本市全体の障がい者雇用促進につなげていきたいと考えている。



つだ
議員
公明党

ごみステーション訴訟を通して考える自治会活動のあり方について

質問

ごみステーションの管理は自治会が担いごみ収集は市で行っている。自治会加入はあくまでも個人の自由でありごみステーションの利用は平等に提供されるべきだが、本市は自治会との役割分担や市の責任についてどのように考えているか。今後見直す予定はあるか。

回答

ごみ収集における自治会との役割分担について、自治会等には、ごみステーションの設置と管理を行っていただいております。市は、設置の際の補助金や、維持管理のための美化協力金の交付を行っている。今回の訴訟に関し、市の責任として、地域などから、情報の収集に努めるとともに、当事者がお互いに話し合う場を設定するなどして円満な解決に向けて努めてきたところである。今後は、関係部署とも連携して、全国的な状況などをしっかりと調査した上で、地域の皆様に対して情報提供などを行っていく。



文化会館跡地の暫定利用について

質問

現在、解体工事中の文化会館については、工事後はどのような概観になるのか。

また、跡地を未利用な公共空間にすることなく有効活用するため、広場にするなどの最低限の整備を行い、次の方針が決定するまでの期間、暫定利用するべきではないか。

回答

解体工事後の旧文化会館の敷地については、表面に砂利を敷いて整地し、周囲を侵入防止柵で囲う。特に、敷地南側の河南公園との境界は、利用する子ども等の安全を考慮し、フェンスを設置する。

跡地の利活用にあたっては、本市のまちづくりとの整合性を踏まえ、進めていくことが重要であると考えている。次の整備方針が決定するまでの間は、跡地を暫定的に利用するという考え方も一つの選択肢と考えているが、将来的な方針決定後に再度撤去費用がかかるなど、検討すべき課題もあり、今後、関係所属間で活用に係る協議を行っていく。



本市墓地公園の現状と今後について

質問

出生率の減少・人口減少・家族形態の多様化は速度を増している。今後、墓地使用者の利便性や多様性から、本市は共同墓地など新しい墓地の方式を考え、見直す時期なのではないかと思うが、考えを伺う。

回答

近年、全国的にお墓の承継者がいないことや、お墓の維持管理が困難、管理料などの費用負担があるなどの理由から、従来のお墓はいらないと考える人が増えてきている。そのため、個別のお墓を建てず、まとめて埋葬し供養する形のお墓を希望する方もおり、寺院の納骨堂や複数の方の遺骨を同じ場所に埋葬する合葬墓、植物を墓標にする樹木葬など、様々な形式のものがある。本市としても、このような新たな形式のお墓の必要性について、他市の事例を参考に、墓地関係者や関係部局などと研究していく。



米価高騰について

質問

昨年夏に店頭のお米が品薄となる米不足が生じ令和の米騒動と騒がれて以降連日のようにお米に関する報道がなされている。このような中、市長は稲作農家と子育て世帯を支援するためとして福う米いネくらし応援事業に取り組みむこととなった経緯及び目的は何か。

回答

総務省統計局が行う小売物価統計調査において、福井市における米5kgの価格が、昨年7月以降8か月連続で上昇し、4月時点では、前年同時期の約2倍になったことを背景に、米離れ、ひいては米の消費減退が恒常化することへの危機感と子育て世帯の米の購入に係る家計負担を少しでも軽減することが必要であると考えた。

そのため、米離れを防止し、少しでも米の生産者への支援につなげるとともに、子育て世帯の家計負担を軽減するため、本事業に取り組みむこととした。



自動運転の調査・研究について

質問

本市は職員の中でチームを作り、職員同士の勉強会を立ち上げて研究を進めると聞いているが、チームを立ち上げたのか伺う。また、自動運転などの新技術の活用を研究するとしているが、どのような期待をもって研究しようとしているのか伺う。

回答

部局を横断した職員によるチームを今年2月に立ち上げた。様々な分野の専門知識やスキルを活かしながら、自動運転の調査研究に取り組んでいる。具体的には、自動運転の先進地への視察や自動運転事業者への聞き取りなどを通じ、技術や導入コストなどの課題把握や、導入候補地の検討などを行っている。

現在、自動運転の実証運行は、全国各地で進められており、自動運転の技術は、今後、飛躍的に向上するものと考えられている。導入への課題を整理し、本市の地域性に応じた観光や福祉分野などの実用性や必要性などを踏まえ、導入箇所などについて検討していく。



獣害対策の抜本的対策について

質問

鹿やイノシシなどの獣害が深刻化し、特に中山間地域では耕作放棄地の拡大につながりかねない。対策を担う地域住民も高齢化し自主努力だけではもはや限界がある。公的に関与する対策のあり方について、市の方針を伺う。

回答

獣害対策においては、個体群減少に向けた捕獲対策と侵入防止柵の設置・管理などの防除対策を徹底して取り組むことが重要である。

捕獲対策として、45名の捕獲隊員を市内10区域に分け、獣害捕獲活動を実施するなどしている。

また、防除対策として、電気柵等の資材支給補助に加え、適切な設置・管理に向けた集落点検や研修実施などにより、防除対策の意識向上を図っている。

獣害対策における課題は、地域のみで解決できるものではないことから、現状把握や県・関係団体等との連携により、地域状況に沿った獣害対策に取り組んでいく。



「福井市道づくりビジョン」について

質問

「福井市道づくりビジョン」が策定されてから、15年が経過した。道路インフラそのものが、今や、市民の安心・安全を脅かす危機的な状況にあることを強く意識した、新しい「福井市道づくりビジョン」を策定しては如何か。

回答

「福井市道づくりビジョン」は、上位計画である福井市総合計画や福井市都市計画マスタープランと整合を図りながら、都市の将来像を実現するための、道づくりの具体的な進め方などを示す方針である。しかし、策定から約15年が経過しており、社会情勢の変化や国土強靱化等の新たな課題への対応が必要である。特に道路施設の維持管理に対する課題意識の高まりから、本市として新たな方針を示していく必要がある。

そのため、上位計画の改定内容を踏まえながら、将来にわたって安全で安心な道路となるよう、「福井市道づくりビジョン」の見直しを進めていきたい。



下水道管の老朽化率や耐震率についての現状と将来に向けた取組について

質問

下水道管の老朽化率や耐震率はどのような状況か。また、今後の老朽化対策及び耐震化の取組についての考えは。

回答

令和6年度末時点での老朽化率は14・1%、耐震化率は37・0%である。

老朽化対策については、平成30年度に策定したストックマネジメント計画に基づき、管路の状態を適切に把握するため、定期的に点検しており、その結果をもとに、健全度を5段階で評価し、管路の重要度を踏まえた上で、計画的に修繕や更新工事を進めている。また、耐震化については、令和5年度に策定した下水道管路施設地震対策基本計画に基づき、地震発生時の被害を最小限に抑えるため、被災時に復旧が困難となる重要な幹線等を優先して段階的に進めている。

これらの取組を通じて、引き続き安全で持続可能な下水道施設の維持管理に努めていく。



市長ビジョンロードマップについて

質問

市長ビジョンは、政治家西行茂ビジョンでもあると理解している。政治家ならば、立てた目標に対し、その課題を乗り越え結果を出すことが責任であると認識しているが、今回のアーリーナ構想について市長はどうしたいのか、率直な気持ちを聞かせてもらいたい。

回答

アーリーナは多くの人を呼び込み、にぎわいを創出する起爆剤である。今ここで何もしなければ、将来的に多くの地方都市の中で埋没してしまうおそれさえある。やるときはやるという思いで、まさに今がそのときであり、中途半端な思いでは実現できないと考えている。

私たちがこよなく愛する福井の未来を見据えるとき、多くの方に福井へ来ていただくためのきっかけづくりがどうしても必要である。にぎわいのある、そして楽しい、安心、元気な福井の実現のため、前へ向いてしっかりと進めていきたい。

(5月臨時会) 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第34号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	5月9日 原案可決	
第35号議案	固定資産評価員の選任について	// 同意	
第1号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	// 承認	
第2号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	// //	●
第3号報告	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度福井市一般会計補正予算)	// //	
第4号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	// 受理	
市会案第10号	福井市議会が世界平和統一家庭連合(旧統一教会)及び関係団体との関係を断つ決議について	// 原案可決	●

(6月定例会) 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第36号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	7月2日 原案可決	
第37号議案	福井市民生委員定数条例の一部改正について	// //	
第38号議案	福井市子ども一時預かり所の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	
第39号議案	福井市自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	

(6月定例会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は下部に掲載)
		7月2日	原案可決	
第40号議案	工事請負契約の締結について(受託No. 4Z-4 福井競輪場バンク改修工事)	7月2日	原案可決	
第41号議案	財産の取得について(3 t 級凍結防止剤散布車)	//	//	
第42号議案	財産の取得について(4 t 級凍結防止剤散布車)	//	//	
第43号議案	財産の取得について(1.5 m級スノーローダ)	//	//	
第44号議案	財産の取得について(CD-I型消防ポンプ自動車)	//	//	●
第45号議案	フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定期間の変更について	//	//	
第46号議案	監査委員の選任について	6月16日	同意	
第47号議案	監査委員の選任について	//	//	
第48号議案	監査委員の選任について	//	//	
第49号議案	令和7年度福井市一般会計補正予算	7月2日	原案可決	●
第50号議案	福井市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について	//	//	●
第5号報告	令和6年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月16日	受理	
第6号報告	令和6年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	//	//	
第7号報告	令和6年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	//	//	
第8号報告	令和6年度福井市競輪特別会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第9号報告	令和6年度福井市水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第10号報告	令和6年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第11号報告	令和6年度福井市簡易水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第12号報告	令和6年度福井市下水道事業会計継続費の繰越しに関する報告について	//	//	
第13号報告	令和6年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第14号報告	令和6年度福井市集落排水事業会計予算の繰越しに関する報告について	//	//	
第15号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	//	//	
第16号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//	
第17号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	//	
第18号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和6年度決算に関する報告について	//	//	
第19号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の令和7年度事業計画等に関する報告について	//	//	
請願第10号	ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書の提出を求める請願書	7月2日	不採択	●

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対

※原則、議長(池上優徳、田中義乃)は採決に加わりません。
※若佐議員、宮岡議員の5月臨時会時点での所属党派はふくい未来の会です。

会派名 議員名	審議 結果	一真会										新政会				市民クラブ				公明党		日本 共産党	無所属									
		見谷 喜代三	皆川 信正	青木 幹雄	今村 辰和	堀江 廣海	八田 一以	池上 優徳	寺島 恭也	榎原 光賀	葛野 早智代	浦上 逸人	漆崎 與	佐野 弘	野嶋 祐記	奥島 光晴	伊藤 洋一	藤田 諭	田中 義乃	堀川 秀樹	村田 耕一	玉村 正人	酒井 良樹	高田 稔浩	宮岡 勝也	下畑 健二	菅生 敬一	津田 かおり	鈴木 正樹	山田 文葉	近藤 實	岩佐 武彦
5月臨時会																																
第2号報告	承認	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
市会案第10号	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
6月定例会																																
第44号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第49号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第50号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
請願第10号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	

議長の動静(令和7年4月～6月)

4月15日	中核市市議会議長会 総会(愛知県)
15日	北信越市議会議長会 監事会、評議員会、定期総会(新潟県)
5月8日	福井県市町振興協会 理事会
12日	北陸新幹線建設促進大会 同盟会総会(東京都)
19日	全国市議会議長会 理事会 等(東京都)
20日	全国市議会議長会 定期総会(東京都)
21日	全国市議会議員共済会 代議員会(東京都)
27日	福井市北陸新幹線建設促進協議会 理事会、総会
6月5日	全国競輪主催地議会議長会 定期総会(東京都)

定例会外の議会日程(令和7年4月～6月)

4月28日	議会運営委員会
5月2日	県都にぎわい創出対策特別委員会
7日	議会運営委員会
23日	議会運営委員会
30日	議会運営委員会
6月9日	議員全員協議会、議会運営委員会

5月臨時会

5月9日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
------	---------------------

6月定例会

6月16日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
17日	議会運営委員会
23日	本会議(一般質問)
24日	本会議(一般質問)
25日	本会議(一般質問) 議会運営委員会
26日	総務委員会 建設委員会
27日	教育民生委員会 経済企業委員会
30日	議会運営委員会
7月2日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議

傍聴してみませんか

本会議をはじめ、常任委員会や特別委員会等の会議を傍聴することができます。各会議の傍聴を希望される方は、下記を参考にお越しください。

傍聴できる会議	受付場所	受付時間	定員
本会議	市役所本館8階 議場入り口	開会30分前 から (先着順)	97名 (うち車椅子6名)
常任委員会 (総務、建設、教育民生、経済企業)	市役所本館8階 各委員会室前		若干名
議会運営委員会			
みちづくり・ひとづくり・ まちづくり対策特別委員会			
議員全員協議会 予算特別委員会	市役所本館8階 全員協議会室前		

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをお勧めします。
※詳細については、下記のホームページを御確認いただくか、電話でお問い合わせください。

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されます。基本的にいつでも提出できますが、提出時期等詳細については、ホームページを御確認の上、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ

議会事務局 議事調査課
TEL.0776-20-5510

編集後記

福井市議会は、6月に議会役職の変更が行われ、議会だより編集委員会も新体制になりました。福井市らしさを出せるようがんばります。

今号の表紙写真は福井市総合防災訓練の一コマです。77年前の福井地震を忘れないために毎年6月に行われます。我が家の防災への備えは大丈夫ですか。今一度見直してみてください。

今年も暑い夏が続きます。日々健康で。
(編集委員長 菅生)

福井市議会だより編集委員

委員長 菅生 敬一 副委員長 漆崎 與
委員 高田 稔浩、浦上 逸人、山田 文葉、
藤田 諭、伊藤 洋一、村田 耕一

》》》 次回は 》》》 9月定例会です

- 定例会の日程はホームページに掲載します。
- 本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送します。
- 本会議、常任委員会等の模様は、インターネットで録画配信します。

市議会
ホームページ



本紙に関するお問い合わせ

議会事務局 庶務課
TEL.0776-20-5506
FAX.0776-20-5744

WEBでの
お問い合わせ
フォーム

